

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 18 日

事務事業名		国指定史跡真壁城跡保存整備事業				事業区分		担当		
						新規/継続	継続	事務事業No.	020501000896	
						単独/補助	補助		090701	
政策体系		政策体系上の位置付け						所属課	文化財課	
総合計画の施策名		0205 文化財の保存活用						課長名		
政策名		02 生きがいや学びのまちづくり						グループ	文化財G	
施策名		05 文化財の保存活用						担当者名		
手段名		01 ①文化財の保存								
		財務会計上の位置付け				事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	10	05	07	01	00	史跡等保存整備事業			
法令根拠		文化財保護法、史跡真壁城跡整備検討委員会設置要項				事業期間		単年度繰返し (平成9年度~)		
								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入		

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>国指定史跡真壁城跡の保存整備及び活用事業。 ○主な事業は発掘調査、発掘調査報告書作成、保存整備工事。 ○事業計画は整備基本設計(H27)に基づき、史跡真壁城跡整備検討委員会でき年4回程度協議・決定のうえ実施する。 ○発掘は外曲輪完了。中城を発掘中。 ○保存整備工事は、中城対象。保護盛土、遺構表示、園路舗装、植栽等。 ○公開活用は、発掘、工事成果について公開活用する。 ◎現況：中城庭園等の内容確認の発掘に注力。工事は発掘完了後に計画。 ◎事業費 ・史跡等保存整備事業 国庫補助金(対象経費の1/2)及び市費 ・活用事業 予算なし</p>	<p>①史跡真壁城跡整備検討委員会を開催し、決定にしたがって発掘調査、保存整備工事を実施する。 ②発掘及び保存整備工事は平成27年度史跡真壁城跡整備基本設計に基づく内容。 発掘調査：中城中央部の庭園跡等 保存整備工事：中城の復元工事。発掘完了箇所から実施。 活用：発掘調査現地説明会、歴史講座、企画展示、各種団体研修会、発掘体験、職場体験等</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
○整備事業 史跡真壁城跡整備検討委員会を開催し、決定事項にしたがって発掘調査及び保存整備工事を実施。 ○公開活用事業 整備事業成果について、企画展示及び歴史講座を開催して公開活用する。	発掘調査面積	㎡	600.00	700.00	600.00	600.00	600.00
	保存整備面積	㎡	700.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	展示・歴史講座の回数	回	3.00	3.00	4.00	4.00	4.00
	展示・歴史講座の参加人数	人	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
整備事業：史跡真壁城跡 公開活用事業：市民、観光客、児童・生徒、研究者	真壁城跡面積	㎡	125,251.00	125,251.00	125,251.00	125,251.00	125,251.00
	桜川市の人口	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
整備事業では発掘と復元工事で文化財保護を図り、歴史的価値を高める。 公開・活用によって資産価値を高め、観光や地域コミュニティーの魅力を向上させる。	発掘調査完了面積	㎡	34,573.00	35,273.00	35,873.00	36,473.00	37,073.00
	保存整備完了面積	㎡	40,254.00	40,254.00	40,254.00	40,254.00	40,254.00
	参加人数の前年度比較(増減)	人	250.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
事業費	国庫支出金	千円	9,361	10,626	9,478			
	県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	使用料・手数料	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	15,834	15,144	20,545			
事業費計(A)		千円	25,195	25,770	30,023			
正規職員従事人数		人	3.00人	3.00人	3.00人			

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
	科目	金額		科目	金額	
01 報酬	12,855		01 報酬	17,639		
03 職員手当等	2,405		03 職員手当等	3,596		
04 共済費	40		04 共済費	57		
07 報償費	15		07 報償費	230		
08 旅費	716		08 旅費	924		
10 需用費	1,217		10 需用費	1,470		
11 役務費	11		11 役務費	22		
12 委託料	7,779		12 委託料	5,071		
13 使用料及び賃借料	588		13 使用料及び賃借料	910		
17 備品購入費	144		15 原材料費	104		
	合計	25,770		合計	30,023	

事務事業名	国指定史跡真壁城跡保存整備事業	事務事業No.	20501000896	所属課	文化財課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成6年国指定。平成9年度から国庫補助、県費補助、市費で開始。発掘・整備工事は、外曲輪完了、中城と二の丸の一部で発掘を進める。中城庭園が規模広大で期間と費用が増大する。 公開活用は動画や広報に注力した結果、市内外の参加者が増加した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
歴史公園として公開・活用を望む。真壁城と真壁伝承館、町並み、古道など周辺文化財を含む歴史講座や活用イベントの要望がある。イノシシ対策の防護柵設置やハーブ植栽の効果について市民から関心を持たれている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 真壁城跡の保護と活用に繋がり、桜川市の魅力を高める。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 国指定の市有財産であり、歴史景観を復元して資産価値を高め、活用する必要がある。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 発掘、報告書、整備工事は、他所例を参考に、効率化と成果向上をはかる。最新の城郭活用を参考にしながら、未整備地や関連文化財を連携させた公開活用をはかり、真壁城跡の資産価値を向上させる。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 公開・活用ができなくなり城跡の価値が生かせなくなる。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 発掘中の中城の庭園遺構は全国的にも稀な安土桃山時代の庭園で、規模も大きく、発掘により解明し活用する必要があり、当面削減余地なし。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の財産である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成27年度策定の整備基本設計をもとに発掘調査と整備工事を進めている。発掘調査は、庭園の全体像の解明が進み、令和4年度から庭園下層遺構等補足調査に入り、残り数年の調査計画。 整備工事は、発掘調査完了及び発掘報告書刊行後、計画する。 公開活用は、発掘、工事の完成を待つことなく、随時途中経過を公開活用して資源活用を促進する。																											
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性																													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																											
発掘調査と発掘調査報告書作成が多大な期間を要する作業のため、複数人で分業して迅速化し、効率化を図る。事業計画全体を効率化することにより、早期活用をはかり、事業全体の生産性を向上させる。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上	コスト			削減	維持	増加	維持	○								低下								
成果	向上	コスト																											
		削減	維持	増加																									
維持	○																												
低下																													
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																											

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>